

情報提供日	2021年(令和3年)6月15日
問い合わせ先	コロナワクチン対策室(請井・秋末)

集団接種会場におけるワクチンを充填しないままの注射器による接種について

令和3年6月14日(月)に、明石市の新型コロナウイルスワクチン集団接種会場(あかし保健所)において、注射器にワクチンを充填しないまま接種を行った可能性がある事案が発生しました。

誤って接種した可能性のある市民の方に対して、深くお詫びするとともに、健康状態に注意いただき、あわせて、今後抗体検査を受けていただくことをご説明しています。

市民の皆様には、ご心配、ご迷惑をお掛けし、重ねてお詫び申し上げます。今後、このような事態を発生させないよう、再発防止策を徹底してまいります。

1 概要

6月14日(月)午前11時頃、あかし保健所の新型コロナウイルスワクチン集団接種会場において、1回目の接種に訪れた70歳代男性に対しワクチン接種を行いました。接種を担当した看護師が、接種(ワクチン注入)の際の手応えがこれまでと異なることから、接種後に、ワクチンの管理を担当する市職員に確認したところ、注射器にワクチンが充填されていない可能性があることが判明しました。

2 原因

- ・希釈・充填担当者4名がそれぞれ、希釈から充填までの一連の作業を一人で行っていますが、このうち1バイアル分について、注射器を空のまま、接種ブースに運びました。
- ・接種担当者は接種の前に注射器が空であることに気がつかずにそのまま注射してしまいました。

3 ワクチンを充填せずに接種した方

70歳代の男性 1名

4 対応

- ・接種後約30分経過観察を行いました。接種した方の健康状態に変化はなく、現時点で健康被害は生じていません。
- ・今後の対応については、1回目の接種の3週間後の7月5日(月)に2回目の接種のためにあかし保健所に来ていただき、抗体検査を実施します。抗体が確認できない場合は、3週間後の7月26日(月)に再度接種を行う予定です。
- ・接種された方に事情を説明し謝罪するとともに、医師立ち会いのもと、空の注射器による接種が身体に影響がない旨説明し、今後の対応について理解していただきました。

5 再発防止策

- (1) ①生理食塩水をバイアルに注入する際に必要量が注入できているか、②注射器にワクチンを充填する際に必要量の接種液が充填されているか、2名によるダブルチェックを行います。
- (2) 集団接種会場に従事する医療従事者等に対して、本事案の周知を行い、業務マニュアルの再確認と徹底、再発防止に向けた注意喚起を行います。

<参考>本来のワクチンの希釈から接種の流れ

- ① 希釈・充填担当者がワクチン（バイアル）内に 1.8ml の生理食塩水を注入し希釈する。
→ 6人分の接種液が完成
- ② 注射器でバイアルから一人当たり 0.3ml の接種液を吸引
(一つのバイアルから 6人分の接種液が吸引できる)
- ③ 接種担当者が注射器を受け取り、接種する